

履歴書

基本情報

氏名 韓 賢宇 (はん ひよぬ)
生年月日 1990 年 4 月 5 日生 (満 32 歳)
性別 男
電話番号 080-7563-4990
メールアドレス westegg710@gmail.com
住所 〒177-0054 東京都練馬区立野町 30-6 母力吉祥寺北 202
在留資格 配偶者ビザ (就労制限なし)



学歴・職歴

学歴

2007 年 3 月 韓国 仁川光星高等学校入学
2009 年 2 月 韓国 仁川光星高等学校卒業
2010 年 3 月 韓国 建國大学校経済学科入学 (休学中/中途退学予定)

職歴

2011 年 1 月 韓国 株式会社 DCP 正社員 入社
2013 年 3 月 韓国 株式会社 DCP 退社
2016 年 12 月 韓国 株式会社 Hyangwoo 正社員 入社
2018 年 10 月 韓国 株式会社 Hyangwoo 退社
2019 年 11 月 日本 Drop Inn Osaka パートタイム 入社
2020 年 4 月 日本 Drop Inn Osaka 退社
2020 年 5 月 日本 自家製うどん中西 パートタイム 入社
2020 年 12 月 日本 自家製うどん中西 パートタイム 退社

資格

2018 年 3 月 TOEIC 850
2021 年 2 月 JLPT N1
2020 年 6 月 日本普通運転免許

自己紹介

私は韓国生まれ韓国育ちの韓国人ですが、2019 年以降配偶者(妻)の転勤に伴い日本の大阪に引っ越してきました。日本に来た当初は日本語がほぼできなかったため最初の 2 年は日本語の勉強とパートタイム(ゲストハウス運営や飲食店)中心の生活を送りました。2020 年頭に日本語能力試験(JLPT)2 級、2021 年頭には最上級の 1 級を取得し終わりました。1 年前からは、ソフトウェアエンジニアを目指してプログラミングをしています。

趣味はバスケットを中学の部活から始め 15 年ほどやっています。大阪では韓国人バスケットチームを立て、キャプテンとして 1 年間チームを運営したこともあります。最近はランニングにはまっていて週 20km ほど走っています。

現在の日本での在留資格は「就労可能な配偶者ビザ」となり企業側でのビザ取得などは不要で日本国籍者同様に雇用可能なものです。

長所と短所

長所

私の長所は物事や問題についていつも十分な調査を行い、できる限り正確に把握し、最も効率的な方法を見つけようとする態度だと思います。例えば、私は何かしらのツールやアプリケーションを使用する前にそのツールの詳細なスペックと、どうすれば効率的に使えるか、他の似ているツールと比べてどんなメリットとデメリットがあるか、実際のユーザーレビューはどうかを詳しく調べます。このような姿勢は習慣になっています。私はこの習慣は毎日新しいことが続々出てくる IT 業界で活かせると思います。技術文書を読んだり書いたりする時はもちろん、チーム内で意見交換をする時も活かされると考えています。

短所

私は新しいタスクの処理や決定などは比較的慎重に行う性格です。その慎重さが好作用することもあります。迅速さが要求される場合には、速くできなかったり、集中力が落ちる場合があります。そのため、最近は全てのタスクを随時リストアップし、優先順位をしっかりと見極めて取り組み、効率的にタスクを処理する練習をしています。

転職事由

韓国で暮らしているときは家庭の経済的な問題を抱えており、大学卒業を後倒しに色々と仕事をしなければならぬ状況でした。仕事に対する不満などは特にありませんでしたが、やりがいや楽しさを感じるものでもありませんでした。それから結婚を機に日本に来ることになり、韓国とは異なる環境に適応し、新しい経験をしたり挑戦をする中で「人生のほとんどの時間を占める仕事というものを惰性でやりたくない、やりがいを感じ楽しく意欲的に働ける仕事に就くべきだ」と強く思うようになりました。そのときにソフトウェア業界の開発者たちの話を聞ける機会があり、仕事に対する彼らの愛情、考え方、知識、やりがいなどに強く感銘を受けました。自分自身も日頃から電子機器やソフトウェア、IT 技術に興味があったため、自分もこの道に進みたいと思うようになりました。工学の基礎をしっかりと積み、技術を活かして世界に影響を与えられるようなサービスやシステムを作る人になりたいです。そのためには常に勉強しつづけていかなければならない職業が開発者であり、そのような点もとても魅力的です。

そのため1年前からC言語を皮切りにプログラミングを勉強しはじめました。普段から関心のあったコンピューターの構造とソフトウェアの動作原理などが少しずつ分かるようになり、IT 業界の様々な分野やそこで技術が成し遂げている驚くべき事象に触れ、次第に開発の面白さと憧れが強くなりました。文系出身としてはもちろん難しいところもありますが、知識が少しずつついてくるにつれてできることも増え面白くなる一方です。

勉強することも楽しいですが、これからはそれに加えて実務で知識を自分のものにし、他の方とも一緒に働くことで、困難を克服していくやりがいと楽しみを経験していきたいです。